

第7回世界のウチナーンチュ大会ホームページ  
制作及び SNS を活用した情報発信業務仕様書

第7回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

## 1 概要

### 1.1 件名

第7回世界のウチナーンチュ大会ホームページ制作及び SNS を活用した情報発信委託業務

### 1.2 業務期間

令和2年度 契約締結日から令和3年3月31日まで

令和3年度 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

令和4年度 令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

なお、令和3年度及び令和4年度については、実行委員会予算が措置されることを前提とし、措置されない場合は、業務委託が実施されないことに留意されたい。

また、事業者の選定にあたっては、令和2年度から令和4年度にかけての企画提案を受け、審査を行った上で、令和2年度業務の委託業者を決定し、令和3年度及び令和4年度業務については、当該事業者に委託することを前提とする。ただし、令和2年度業務における実績及び次年度以降の予算措置状況等を考慮し、新たに公募することもありうる。

### 1.2 概要

#### 1.2.1 目的

令和4年度に開催される「第7回世界のウチナーンチュ大会」（以下、大会）の開催に向けたホームページ制作及び SNS を活用した情報発信を行い、国内外県人会をはじめ、多くの人々に向けた開催 PR および詳細情報等の発信を行う。

#### 1.2.2 対象コンテンツの概要

##### (1) コンセプト

- ① すべて日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語で作成すること。
- ② 利用者の視点に立ち、本県が用意しているメニューが俯瞰的かつ視覚的に分かりやすく伝わるものにし、大会への興味を喚起させるようなデザインにすること。
- ③ 別に制作したマスコットキャラクター、今後作成予定の公式シンボルマークを使用すること。
- ④ 職員のスキルにかかわらず、容易な操作方法で情報の更新が行えるシステムを導入し、一定の完成度が保てるつくりにすること。
- ⑤ 利用者が目的の情報に迅速にたどりつけること。

##### (2) ホームページ掲載内容（令和2～4年度）

必要な掲載内容は下記とする。なお、下記以外で集客に効果的と考えられる情報があれば提案すること。

###### ① 大会概要

大会の目的・意義等、知事メッセージ、過去大会概要、協賛企業紹介等

###### ② イベント情報

イベント概要、会場案内・地図、日付・場所・ジャンル等による絞り込み・検索機能、大会期間中の日時・主要会場のクロス表等

③ 大会参加登録

式典イベント参加登録の方法（事前周知を含む）、沖縄へのアクセス、参加登録フォームへのリンク（令和4年度に設置、公開予定）等

④ 募集

大会ボランティア（一般、通訳等）、参加型イベント等

⑤大会 Q & A

⑥市町村リンク

⑦大会までのカウントダウン（トップページ）

⑧協賛企業掲載

⑨リンク集

⑩お問い合わせフォーム

(3) SNS アカウント

① Facebook (<https://www.facebook.com/wuf2016/>)

② Twitter ([https://twitter.com/wuf\\_2016](https://twitter.com/wuf_2016))

③ Instagram (<https://www.instagram.com/wuf2016/>)

④ YouTube ([https://www.youtube.com/channel/UCi0shyE\\_dadGCOQkmtvC4Jw](https://www.youtube.com/channel/UCi0shyE_dadGCOQkmtvC4Jw))

※ホームページや SNS アカウント活性化に資するものについては、上記を連動させること。

### 1.2.3 業務内容・成果物

(1) 業務内容

業務内容は以下のとおりである。

業務	内容（詳細作業）
①デザイン・コンテンツ制作業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページデザイン（モバイル端末対応）作業</li><li>・コンテンツ制作（4カ国語：日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語）</li><li>・補足情報収集</li><li>・新規ページ作成</li><li>・web マーケティング設定</li><li>・トップページに合わせた3階層以下のテンプレートを作成すること</li></ul>
② CMS	<ul style="list-style-type: none"><li>・要件定義</li><li>・CMS インストール設定</li><li>・web サーバーリプレイス</li></ul>
③投稿作業	<ul style="list-style-type: none"><li>・投稿内容情報収集</li><li>・投稿案作成（動画・静止画を含む）</li><li>・更新頻度の目安は、月2回を予定</li><li>・多言語化（英語、ポルトガル語、スペイン語）</li></ul>

④コンテンツ保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツの軽微な修正</li> <li>・CMS の利用及び保守管理</li> <li>・サーバ、ドメインの利用及び保守管理</li> <li>・県及び実行委員会側が更新を行う際のサポート</li> </ul>
⑤プロジェクト管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗、工程管理作業</li> <li>・課題管理作業、その他関連作業</li> </ul>
⑥運用マニュアルの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び実行委員会側でコンテンツの更新、変更、削除等を行う際に、使用するため、そのような作業に不慣れな者でも容易に実施できる内容とする</li> </ul>

## (2) 成果物

本業務の成果物は以下のとおりである。

成果物	内容
①作成コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツファイル 一式</li> </ul>
②各種ドキュメント	本業務で作成した各種書類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインドキュメント 一式</li> <li>・運用マニュアル</li> <li>・アクセス分析データ</li> <li>・上記ドキュメントを格納した電子媒体 一式</li> </ul>

### 1.2.4 著作権

本業務にあたり新たに作成した著作物の著作権及び所有権は県及び大会実行委員会に帰属すること。また、既存の著作物に関しては、県が当該部品等を利用する場合、もしくは外部サーバにアップロードする場合は、受託者は当該著作物の権利者に対し、二次使用权等の許諾を得ること。

## 2 システム要件

### 2.1 基本要件

#### (1) CMS 対応

基本としてブラウザだけで動作する CMS (Contents Management System) により管理・更新を可能とすること。詳細は、CMS 機能要件一覧 (別添) のとおりとすること。

また、web サーバは、外部レンタルサーバ等を利用するものとする。

#### (2) ガイドライン対応

システムの画面は、「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ (JIS X 8341-3:2016)」に準拠すること

が望ましい。

Web の標準技術（HTML5,CSS3）を遵守すること。

(3) モバイルフレンドリー対応

スマートフォン・タブレット等あらゆるデバイスにてホームページ閲覧が可能とすること。

## 2.2 制約事項

(1) 対応ブラウザ

以下の最新ブラウザに対応すること。

- Internet Explorer
- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Apple Safari

(2) ファイル形式

原則は以下の形式のいずれかとする。これ以外の形式を使用する必要がある場合は、県と協議すること。

- HTML 形式
- Gif/Jpeg/PNG 形式
- PDF 形式

(3) CGI 機能

CGI の利用が必要な場合、Perl 及び php が利用可能である。

(4) 注意事項

Java アプレット及び ActiveX コントロールの利用は禁止する。

## 3 業務要件

### 3.1 コンテンツ制作業務

大会のホームページ及び SNS を、より魅力的かつ分かりやすくするため、次の点に重点を置くこと。

1 利用者への配慮を最大限重視する。

利用者の視点に立ち、ユーザビリティやアクセシビリティに配慮し、誰にも分かりやすく使いやすいホームページを構築する。

2 必要な情報を速やかに発信する機能や仕組みを作る。

利用者に対して伝えなければならない情報を即座に、かつ分かりやすく発信できる機能

や仕組みを作る。

初めて閲覧する人にも分かりやすいホームページにする等、ユーザーエクスペリエンスを向上させる。

#### (1) コンセプトの策定

ホームページデザインを実施する前段階として、以下について県と協議の上、決定すること。

- ・デザインのテーマ、キーワード
- ・メニュー構成概要
- ・色合い、雰囲気など
- ・ユーザビリティ（操作性）の方針
- ・利用するオーサリングツール
- ・全体的なデザイン方針

#### (2) ホームページ及び SNS デザイン

デザイン制作を実施する前段階として、以下について県と協議の上、決定すること。

- ・サイトマップ（または画面遷移図）
- ・ユーザインタフェース（操作方針、イメージ等を記載したもの）
- ・素材（写真、イラスト等）、原稿の確認
- ・ユーザーエクスペリエンス

#### (3) ページ制作

- ・ページデザインに基づき各ページを作成する。
- ・コンテンツ構築に使用する原稿は、県から貸与された関連資料をベースに、県と協議の上決定する。
- ・作成した原稿は、ホームページと同時に各 SNS ヘリンクの設定ができる。

#### (4) 投稿作業

- ・投稿内容について適切に情報収集を行い、県と協議の上投稿案を作成する。
- ・投稿案については、動画や静止画を含むものとする。
- ・投稿案の公開は、県と協議の上決定する。
- ・投稿案は、すべて日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語にて作成する。
- ・各 SNS は原則として月 2 回以上発信を行うこと。（来年度、再来年度の投稿件数は、週 1 回以上とする。）

#### (5) ネガティブチェック

- ・SNS アカウントでは、各言語での書き込みのネガティブチェック等を毎週実施し、ネガティブな書き込みのチェックの他、攻撃的内容が急増した場合、特定国からの書き込

みを停止するなど適切な緊急措置を実施すること。

### 3.2 CMS 機能要件

・CMS 機能要件一覧（別添）のとおりとすること。

### 3.3 プロジェクト管理業務

3.1 コンテンツ制作業務及び 3.2CMS の工程実施期間においては、定期的に進捗状況を報告すること。

打合せ等で発生する受託者及び県の宿題事項等について、解決状況及び結果を一覧表化し課題管理表として管理すること。

## 4 システム非機能要件

### 4.1 機器

本システムでは以下の機器の運用を想定すること。

No.	機器の区分	機器名	設置場所・拠点数	台数	備考
	端末	職員端末	沖縄県交流推進課第7回世界のウチナーンチュ大会開催準備室	4	来年度・再来年度の職員増にも対応すること

### 4.2 情報セキュリティ要件

#### 4.2.1 情報セキュリティ対策

本システムについて「沖縄県情報セキュリティ基本方針」及び「沖縄県情報セキュリティ対策基準」を確実に遵守すること。特に以下の対策は確実に実施すること。

##### (1)セキュリティパッチ

- ・システム専用のサーバ・パソコンを導入する場合、搭載する OS を含む各種ソフトウェアについて、セキュリティ脆弱性に関する情報に注意し、最新のセキュリティパッチを適用するよう運用設計すること。
- ・セキュリティパッチ適用することにより、他のソフトウェアが不正動作を行わないよう事前の検討または検証を行うこと。

##### (2)ウィルス対策

- ・システム専用のサーバ・パソコンを導入する場合、ウィルス対策ソフトを導入すること。
- ・運用時は最新のパターンファイルを適用し、定期的なスキャンとあわせて確認管理を実施すること。

### (3) アクセスポイント接続

・HTTP 及び Transport Layer Security (SSL/TLS) を介して、アクセスポイントに接続できること。

### (4) 公開サーバを含むシステムについて

公開サーバを含むシステムは、特に厳重な情報セキュリティ対策を考慮し、以下について検討を行い対応すること。

- ・アプリケーションやソフトウェアの脆弱性対策として、脆弱性情報を収集し、ソフトウェアのアップデート対応を行う保守体制を確立すること。
- ・侵入検知又は侵入防御サービスを実施すること。
- ・サーバに侵入されホームページ等のデータが改ざんされた際に、その発生を検知し、通知する改ざん検知システムを導入すること。
- ・ログファイルの改ざん防止のため、統合ログシステムの導入を検討すること。

## 4.3 信頼性等要件

### 4.3.1 信頼性要件

- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示す、サービスレベルを満たすこと。
- ・障害の発生を未然に防止又は速やかに発見できる機能を有すること。
- ・停電、落雷等におけるシステム障害を回避するため安全にシャットダウンできる無停電電源装置を備えた構成であること。

### 4.3.2 事業継続性要件

震災等の非常時においては別途協議の上対策を立案し、可能な限り早期にシステムを復旧すること。

## 4.4 運用要件

ホームページに係る運用管理は、その実施方法、費用（月・年間）を具体的に提案すること。

### 4.4.1 システム稼働・監視等要件

- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示すサービスレベルを満たすこと。
- ・本ホームページの運用時間は、24 時間、365 日とする。
- ・障害が発生した際には、担当者に即時に通知する機能を保持すること。

### 4.4.2 データ管理要件

- ・本システムで扱うすべてのデータの保全が実施できる環境であること。
- ・データの消失を防ぐため、定期的にバックアップを行う機能を有すること。
- ・バックアップしたデータを速やかにリストアできる機能を有すること。



## 4.5 保守要件

- ・ホームページに係る運用管理は、その実施方法、費用（月・年間）を具体的に提案すること。
- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示すサービスレベルを満たすこと。
- ・保守手引書及び連絡体制図を本県に提出するとともに、常時運用を円滑に行うための保守（点検及び障害復旧等を含む。）体制を確保すること。
- ・保守対応時間は、土曜、日曜、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く、平日の8時30分から17時15分とすること。ただし、緊急を要する場合の対応については、本県と協議の上対応すること。
- ・本県からの情報伝達方法は、電話及びメールとし、それらを受ける環境を整備すること。
- ・本システムの故障もしくは障害が発生したときには、いかなる事象においても一次切り分けを速やかに実施し、関係各所（本県やハードウェア、ソフトウェアの保守業者等を指す。）へのエスカレーション対応を実施すること。
- ・発生した故障について、報告書（故障箇所、内容、対処策など）を作成し、本県に提出すること。
- ・本システムに故障が発生しないように予防措置に関する情報提供を適宜行うこと。

### 4.5.1 ソフトウェア保守

- ・システムの機能的な不具合の修正を保守の対象とすること。
- ・不具合が発生して3日以内に修正対象の特定と修正計画を立てること。
- ・ソフトウェアの導入は、原則、夜間もしくは休日等の利用時間外に実施すること。
- ・本システムを構成するソフトウェアに対して、セキュリティホール及びバージョンアップ情報等が公開された場合、速やかに本県へ報告し対応すること。

### 4.5.2 ハードウェア保守

- ・故障箇所がハードウェアであった時には、現状の機器もしくは同等以上の能力を有する機器（部品交換含む）を用意し、速やかに復旧対応すること。
- ・本システムを構成するハードウェアに対して、セキュリティホール及びバージョンアップ情報等が公開された場合、速やかに本県へ報告し対応すること。

#### 4.6. ハードウェア構成

(1) 端末

- ・ 端末は、下記の要件で動作すること。







項目	要件
OS	Windows 7 以降
CPU	Celeron 1.6 GHz 以上
メインメモリー	1 Gbyte 以上
ウェブブラウザ	Internet Explorer Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox Apple Safari

(2) サーバ

- ・ 4.2 ～ 4.5 が保証されるサーバを使用すること。

#### 5 実施スケジュール

本業務は以下のスケジュールで実施することを想定している。

	令和2年	～ 12月	令和3年	～ 3月			令和4年	
契約～業務計画書								
コンセプトの策定								
コンテンツデザイン								
コンテンツ制作								
コンテンツサーバーへの登録								
運用								

第7回世界のウチナーンチュ大会 ホームページ CMS機能一覧

機能要件	番号	詳細
サイト全般	1	HTML言語を意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性によりコンテンツを編集できること。また、イベント情報等定型的な情報は、提携フォームを利用する等、状況に応じてテンプレートが容易に設定（利用）できること。
	2	コンテンツの公開イメージのプレビュー表示や印刷が容易にできること。また、関連リンクも含めた公開時と同じ状態のサイト全体のイメージのプレビュー表示や各ページの印刷が容易にできること。
	3	Word・Excelで作成した文章・表を「コピー＆ペースト」により転用でき、その際アプリケーション固有のタグを容易に削除できること。また、固有のタグを排除したデータの見出しの設定等が、CMS上で容易に編集できること。
	4	別途作成したHTMLを「コピー＆ペースト」により転用でき、その際生成される不要なタグや非推奨のタグが容易に削除できること。
	5	同名のHTMLや画像、PDF等を作成しようとする場合、上書きに関する注意を喚起する警告を表示し、スムーズに修正できること。
アクセシビリティ機能	6	「改正JIS X8341-3」に準拠し、最低限「等級AA」の達成基準を満たし、可能な限り「等級AAA」の達成基準を満たすこと。
	7	文字サイズ、背景色を閲覧者が容易に変更できること。
トップページのデザイン	8	管理者がトップページのデザイン、コンテンツの配置及び掲載するJavaScriptやアイコン・画像等について、容易に変更できること。（HTML言語での編集が可能であること。）
	9	指定する位置にバナー広告を8枠以上（最大12枠程度）表示できること。なお、管理者がバナー広告の表示数を容易に変更できること。
	10	バナー広告の掲載順序は、管理者による容易な手順設定で入替ができること。
	11	更新した情報を日付降順によりカテゴリーページ内等、トップページに容易に表示できること。なお、「新着情報」の表示件数を容易に変更できること。
	12	サイトの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規程等の情報を容易に掲載できること。
	13	管理者が選択した情報を「新着情報」をして、トップページに容易に表示できること。なお、「新着情報」の表示件数を容易に変更できること。
2階層以下のデザイン	15	各ページには、グローバルナビゲーション・ローカルナビゲーション（階層リンク）、パンくずリスト、タイトル情報等を必ず配置できること。
	16	トップページと同様に、各ページの指定する位置にバナー広告を8枠以上（最大12枠程度）表示できること。なお、管理者がバナー広告の表示数を容易に変更できること。
	17	トップページと同様に、バナー広告の掲載順序は、管理者による容易な手順設定で入替ができること。
サイトマップ	18	閲覧者がサイト全体の構造を容易に理解できるサイトマップを自動生成すること。
検索エンジン	19	フリーワード検索（全体検索）、絞り込み、and/or等の検索機能を有し、サイト内の検索ができること。（Googleカスタム検索可）
	20	検索結果をサイト・カテゴリ・FAQ等、区別して表示できること。（例：Googleカスタム検索の絞り込みラベル等のイメージ）
キーワード	21	コンテンツに検索用キーワードを容易に設定できること。
表	22	HTMLの知識がない職員でも、簡単な操作で表が作成できること。また、作成した表の幅や高さ等の調整が容易にできること。
添付ファイル等	23	添付ファイル等をブラウザ上から容易にCMSサーバにアップロードし添付できること。
	24	添付ファイル等のファイル名チェック機能を有すること。CMSに取り込めないファイル名の場合、不適切なファイル名の例（「日本語は使用できません」等）を警告表示し修正を促し、適切なファイル名以外は保存ができないようにすること。
	25	添付ファイルの等をリンクとして取り込んだ場合、自動的にファイル形式をアイコン等（文字列も含む）で表示し、あわせてファイル容量を表示すること。なお、添付ファイルの場合は、Adobe Reader最新版ダウンロードサイトへのリンクも自動的に表示すること。
画像ファイル	26	画像ファイルをブラウザ上から容易にCMSサーバにアップロードし表示設定ができること。
	27	画像ファイルのファイル名チェック機能を有すること。CMSに取り込めないファイル名の場合、不適切なファイル名の例（「日本語は使用できません」等）を警告表示し修正を促し、適切なファイル名以外は保存ができないようにすること。
	28	インライン挿入（特定の座標位置だけでなく文字と文字の間に画像を挿入）及び表示サイズ、表示位置の指定が容易にできること。
	29	画像をアップロードする際に容易にリサイズできること。
バナー広告	30	バナー広告の画像データは、JPG・GIF（透過GIF及びアニメーションGIF）・PNGが使用できること。
	31	管理者が容易にバナー広告の画像・URL・掲載期間・掲載場所を指定して登録できること。なお、掲載期間の登録により、自動的に掲載の開始・終了ができること。

第7回世界のウチナーンチュ大会 ホームページ CMS機能一覧

機能要件	番号	詳細
リンク	32	内部及び外部リンクが容易に設定できること。
	33	外部リンクは、別ウインドウで開くように容易に指定できること。
コンテンツの再利用	34	CMSに保存されているコンテンツを容易に複製し、再利用できること。
コンテンツの公開・公開終了	35	管理者がすべてのコンテンツについて、承認フローによらず、容易に即時公開・停止・削除できること。
	36	コンテンツを未来の日付で公開する場合、公開開始日時を設定することで予定の日時に自動投稿できること。
	37	各ページに公開日もしくは最終更新日を自動的に表示すること。
	38	アクセスしたページが公開終了、停止、削除等により存在しない場合には、エラーページを自動表示させること。
カテゴリ	39	管理者が容易にカテゴリを追加・変更・削除できること。なお、変更した内容は、サイトマップ、カテゴリ・インデックス、ローカルナビゲーション、パンくずリストに自動的に反映すること。
	40	コンテンツ作成時に、登録されたカテゴリの中から選択することで、カテゴリを容易に登録できること。なお、1つのコンテンツについて、複数のカテゴリが用意に設定できること。
	41	作成済みコンテンツを、別のカテゴリに容易に移動できること。
ナビゲーション	42	すべてのページに共通して「ページの先頭に戻る」「前のページに戻る」「トップページに戻る」等のリンクを設定し、統一された所定の位置にリンクボタンを表示すること。
モバイル端末WEBサイト管理機能	43	PC版Webサイト用コンテンツ作成と同時に、モバイル端末版Webサイト用コンテンツの自動作成が容易にできること。
	44	専門知識を持たない職員でも、モバイル端末版Webサイト用コンテンツが容易に作成できること。
	45	モバイル端末Webサイト用コンテンツの公開イメージを容易にプレビュー表示し、そのイメージを印刷できること。
	46	地図コンテンツ画像を容易に作成し、表示設定できること。
	47	モバイル端末版Webサイト内の検索機能を有すること。
	48	PC版と同様の問合せフォーム機能を有すること。
	49	WEBサイトをホーム画面に追加した際に表示されるモバイル用WEB Ciltアイコンを設定すること。（ウチナーンチュ大会マスコットキャラクターの笠丸または後日決定されるシンボルマークを想定）
FAQ機能	50	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なFAQページを容易に作成できること。なお、随時、FAQ項目の追加・更新・削除が容易にできること。
	51	FAQには、関連リンクや問合せ先を容易に設定できること。
	52	閲覧者が、カテゴリからFAQを容易に探すことができること。
動画配信機能	53	様々なサイズやファイル形式で、動画の登録・配信が容易に行えること。 なお、YouTube等の動画配信の外部サイトを利用することも可とする。
付加機能	54	RSS等を自動生成するコンテンツを容易に設定（追加・削除を含む）できること。
	55	CMS編集画面上に、オンライン操作マニュアルを表示させること。
	56	IP v6 に対応していること。
	57	CMSサーバは一般の利用者からアクセスできないよう、グローバルIPアドレスでの制御等を行なうこと。
	58	データセンターへアクセスする場合は、一般インターネット回線を利用することとし、ID・パスワード認証でログインを行なうこと。
	59	CMSパッケージソフトは、すでに他自治体での導入実績があること。
	60	閲覧者のPCにおけるOSやブラウザ等利用環境に依存することなく、概ねすべての環境から同等の階層構造やレイアウトが崩れることなく快適に閲覧できるような仕組みとすること。
	61	CMSに登録されたデータベース及びコンテンツは毎日自動バックアップすること。
	62	障害発生時には、バックアップデータ等から速やかに復旧措置が行えるよう方策を講じること。また、障害発生時の問い合わせ窓口及び対応は、24時間365日体制とすること。
	63	システムに脆弱性が発覚した場合やセキュリティパッチの導入、不可避なアップグレード等が必要となった場合は速やかに修正作業を保守業務範囲内で実施すること。
	64	サイバー攻撃等が発生した場合や予見される場合は、ログの収集・解析を実施すること。
65	システムに脆弱性が発覚した場合やセキュリティパッチの導入、不可避なアップグレード等が必要となった場合は速やかに修正作業を保守業務範囲内で実施すること。	
66	サイバー攻撃等が発生した場合や予見される場合は、ログの収集・解析を実施すること。	
67	faviconの設定、変更が可能であること。（ウチナーンチュ大会マスコットキャラクターの笠丸または後日決定されるシンボルマークを想定）	

第7回世界のウチナーンチュ大会 ホームページ CMS機能一覧

機能要件	番号	詳細
SEO対策	68	HTML5+CSS3で記述されていること。
	69	URLの正規化（wwwやindexの有無）がされていること。
	70	canonical正しく設定され、URLの正規化がされていること。
	71	スマートフォンサイトがP Cサイトと別URLである場合、モバイルリンクディスカバリーが設定されていること。
	72	titleの文字数は検索エンジンが推奨する設定であること。
	73	対策キーワードが、title・h1～h6まで正しく設定されていること。
	74	CSSやJavascriptは外部ファイル化され、HTML構造がシンプルで検索エンジン対策がなされていること。
	75	ファイルサイズの軽減や・サーバーチューニングを施すこと。
	76	対策キーワードがページ上部で正しく記述され、オーガニックサーチ・指名検索で上位表示されること。
	77	meta・strong・altなど、検索順位に影響する設定は正しく記述すること。
設定	78	HTTPステータスコード404ページを正しく設置していること。
	79	内部リンクやフッターリンクの過剰設置など、検索順位にマイナスとなる要因は設計回避すること。
	80	GoogleAnalyticsを導入し、全ページのログを解析できるように基本設定・フィルタ設定・コンバージョン設定を行うこと。
構造	81	Google Search Console（以下GSC）を導入し、検索トラフィックを監視設定すること。
	82	GSCサイトマップ登録では、自動生成されるxmlファイルを登録し、正しくインデックスされていること。
	83	GSC「HTML改善」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
	84	GSC「モバイルユーザビリティ」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
UX/UI	85	W3C 統合検証サービスを用いてHTML・CSSの構文チェックを受け、エラーが発生した場合は適切な処置を行うこと。
	86	CMS専用URLのnoindex設定を正しく行っていること。
	87	O2O促進を意図するページにはSNSボタンを設置し情報拡散を図ること。また、ボタン設置後においても読み込み速度はユーザーがストレスを感じない1秒以内で閲覧できる状態であること。
	88	コンテンツサイズ・配色ルール・Webフォントなど、ユーザビリティに配慮したUI設計書に従いレイアウト設計・デザイン・HTML構造を行うこと。